



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.3.13 No. 3555

団体交渉(3/9)で追及! 「事業団」の仲間を原職に戻せ

3.15 集会所の 大成功に 闘争終結策動 を許す

三月九日、本社において清算事業団の仲間たちの原職復帰について団体交渉が行われた。

地労委命令の即時履行を求めた動力千葉の申し入れに対しJR当局の回答は全く不誠実なものであった。(別掲を参照)

組合側からの追及に対して「地労委命令は納得できない。改革法を離れて解決するのはむずかしい」「採用するつもりはない」「基本的な部分の対立があり会社側の回答は同じことの繰り返しになる。」と繰り返すのみである。われわれは、違法に違法を重ねるJR当局を断じて許すことができない。

闘争終結策動 を許す

清算事業団闘争をめぐって様々な「和解」・闘争終結策動がおこなわれている。しかし、JR当局がこのような対応を繰り返す以上「和解」などありえるはずはない。「和解」とは、結局国労に対して「旗をまき膝を折れ」ということだ。

更にその背後には、国労に路線転換を迫ろうとする策動がうずまいてる。

清算事業団闘争終結策動粉砕、原職奪還にむけて3・15、4・1集会所に全力結集し暗雲を断ち切る。

労組が許せるか

千葉県地方労働委員会の本件命令は、事実を誤認し、国鉄改革法の解釈においても間違った判断をしているなど、会社は承服できないので中央労働委員会に再審査を申立たものである。

労組が許せるか 労組が許せるか

当局は地労委命令を守れ



(敷地内・天神峰 市東東市)

運輸省は、敷地内の農民をだれもシンポに引き込むことができなかった。これで空港問題が解決すると宣伝するのはがまんできない。学者が調停するそうだが空港をつくる立場の人たちです。「農民は土地をさしだしてくれ」という提言は拒否する。補償が問題じゃない。私は生まれここに生きられればいい。代執行というのならたかかうのみです。

激動の九二年は、一月冒頭から激しく揺れ動いている。政治の大反動、差別攻撃既の激化、そして「共和」「佐川」疑獄にみられる金権・腐敗。こうした動きは世界や日本が戦争と反動、不況の時代に突入していることを告げ知らせている。

勝利の道は、権力に屈せず不屈に闘いつづけ、人民を鼓舞激励している。拠点を守り、それを広げることである。闘う民衆の結集の皆であり、反戦の皆である三里塚・反対同盟農民を守り新たな前進をたかいかいことこそ清算事業団闘争と並んで当面の最重要課題である。反対同盟の熱烈な訴えに応えよう。3・29全国集会所に全力あつまろう。

みんな集まろう 反対同盟の 熱烈な 「檄」に応えよう。



3・29 全国集会所へ

成田空港拡張工事絶対阻止、奥田「強制収用」発言弾劾、公開シンポジウム粉砕、脱党派粉砕一掃